



The Ys Men's Club Of Kyoto-Capital

2007 8

Bulletin

2007. 8. 1. 発行
第25巻 第2号 通巻289号

(CLUB OFFICE)
京都 Y M C A
〒616-8502 京都市伏見区中津
電話 (075) 231-4388

THE ONLY CLUB OF ITS KIND
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

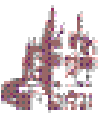
強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

CHARTERED 28 Sep. 1903

クラブ主題 Ahead of a generation — 新たな展開を求めて —

国際主題	「国境なき奉仕」"Service Without Borders" 示そうワイズ! 慎ぼうワイズ!	IP: Lasse Berntsen (デンマーク)
アジア主題	「国境なき奉仕」"Service Without Borders" ワイズメンの旗のもとに	AP: 藤井 功雄 (東京+BC)
西日本区主題	「確信を持って前進しよう!」"Let's move forward with conviction!"	RD: 神谷 清孝 (和歌山)
京都部主題	「京都部目標を掲げてYと共に更なる飛躍を!」"元気・やる気・根気・本気"	DG: 朝山 康治 (京都+BC)
メネット主題	「メネットの笑顔はYの宝物」"楽しみましょう!! Yと共に"	MSD: 柳 早知子 (和歌山)

会長	山田 隆之
副会長	堀 一行
書記	岡島 脩雄
会計	田中 雅博



『怒りを解き、憤りを捨てよ。

自分も悪事を謀ろうと、いら立ってはならない。』

(詩編 第37編 8節)

2007 ~ 2008年度 事業方針

会長主題 「Ahead of a generation」

— 新たな展開を求めて —

会長 山田 隆之

伝統と実績を理解しながらも、今一度クラブ活動を見つめなおしたいと思ひます。クラブ活動に対する思いは個々に違いがあつても、お互いに理解し、尊重しあいながら目的に向かって一丸となつて活動したいと考えております。

活動方針

- Yサ・ユース事業 YMCA 活動・竹田主査への全面的サポート
- 地域奉仕・環境事業 UGP STOP HIV / AIDSへの参加・協力、新たなサービスの模索
- EMC事業 京都部目標の1割増強を目指す
- ファンド事業 BF 代表への積極的応募推進 EF, JWF の啓蒙推進 クラブ内ファンドの充実
- 交流事業 他クラブとの合同例会の開催 IBC、DBC を積極的に行う
- 広報事業 ワイズ活動を積極的にアピールすることにより 知名度の向上を目指す
- メネット事業 メネット事業を積極的に支援する

委員会配属表

会長	山田隆之	直前会長	大門和彦
副会長	堀 一行 柳 慎司	次期会長	香山章治
書記	岡島脩雄 金原弘明	京都部Yサ・ユース事業主査	竹田博和
会計	田中雅博 森 繁樹	連絡主事	神崎清一

委員会	委員長	副委員長	委員	担当三役
YMCA サービス	瀬本 純夫	石村 吉宏	竹田 博和 菅原 縦一 山口 雅也	田中 雅博
地域奉仕・環境	仁科 保雄	森 常夫	橋本 真一	柳 慎司
ドライバー	山田 英樹	吉井 崇人	橋本 真一	岡島 脩雄
交 流	岡本 尚男	内廣 健	大山 孜郎	金原 弘明
ファ ン ド	幡南 進	大門 和彦	勝山 廣一郎	森 繁樹
広報・プリテン	八木 悠祐	村田 深砂子		山田 隆之
E M C	石倉 尚	香山 章治	*メンバー全員が委員会に所属	堀 一行
メ ネット	山田まゆみ	柳 早知子	竹田 倫子 香山 慶子	

西日本区 強調月間

8月 Youth Activities

夏は、若者が弾む季節です。きらきら輝く若者と共にプログラムを実践しよう! ユースコンボケーションの成功を願い、「若者と共に平和をめざすワイズ運動」を広げましょう。 大野 勉 Yサ・ユース事業主任 (神戸ポート)

7 月 報 告



会員比率

在籍者数 28名
第一例会 25名
第二例会 25名
出席率 96.4%



即ポイント

切手 1,130 g
現金 0円
累計切手 1,130 g
累計現金 0円
J W F 0円
JWF累計 0円
F F累計 0円



ニコニコ

第一例会 5,000円
第二例会 15,000円
累 計 20,000円



ファン

その他 0円
累 計 0円



献 血

献 血 0cc
成 分 0名
累 計 0cc
成 分 累 計 0名



125周年

第一例会 3,031円
第二例会 3,416円
累 計 129,180円

出席第一・時間厳守・寝睡・華生・古切手収集

YMCA サービス事業委員会

- *事業方針 ~ 一人でも多く、一つでも多く~
- 会長主題に沿い、世代を超えてメンバーが一人でも多くYサ事業に参加できるように、また、一つでも多くのYサ事業に参加できるようにアピールしていく。
 - Yサの事業を通して YMCA への理解を深め、メンバーそれぞれが YMCA を身近に感じられるようにする。
 - Yサの活動の中でも常にEMC(メンバー増強)を意識する。
 - 竹田YMCA サービス事業主査に対し最大限のサポートをする。
- *事業計画
- | | | |
|-------------------------|------|----------------|
| 1. リトセン夏の準備ワーク | 参加協力 | 6月24日(日) |
| 2. 平和の集い | | 8月3日(金) |
| 3. 青い空と白い雲のキャンプ | | 8月18日(土)19日(日) |
| 4. リトセン秋の準備ワーク | 参加協力 | 9月2日(日) |
| 5. 留学生ホームビジット | | 未定 |
| 6. 国際協力街頭募金 | 参加協力 | 11月3日(土・祝) |
| 7. リトセンオタムフェスタ | 参加協力 | 11月11日(日) |
| 8. YMCA・YWCA 世界合同祈祷週集会 | | 11月17日(土) |
| 9. 会員クリスマス | | 12月14日(金) |
| 10. 京都 YMCA 創立119周年会員集会 | | 2月22日(金) |
| 11. 卒業リーダー祝会 | | 3月9日(日) |
| 12. フーロカール支援コンサート | 参加協力 | 未定 |
| 13. チャリティーゴルフ | 参加協力 | 未定 |
| 14. 夜桜フェスタ | 参加協力 | 4月20日(日) |
| 15. YY フォーラム | 参加協力 | 未定 |
| 16. インターナショナルチャリティーラン | 参加協力 | 5月18日(日) |
17. 125周年募金の継続

地域奉仕・環境事業委員会

- *事業方針
1. 事業主査方針に則った事業を推進する
 2. 前年度事業の継続
 3. 新事業計画の検討を継続
- *事業計画
1. TOF CS資金 FF献金など事業の実施
 2. TOF 例会の実施
 3. ふれあい広場、ベテスタ祭りのお手伝い
 4. チャリティーボウリング大会への参加
 5. お年五年賀はがき当選切手シート収集のお願い
 6. ワイズデー、STOP・HIV/AIDS 活動への支援
 7. キャピタル25周年に向けて前年度新規事業計画の継続を実施する

ドライバー事業委員会

- *事業方針
- 『心に残る時間』
会長方針の「Ahead of a generation」— 新たな展開を求めて一、に沿って新しい試みを取り入れ、メンバー増強にもつながる様な『心に残る時間』となる例会運営を行う。
- *事業計画
1. 伝統あるキャピタルスタイルを今一度考察し、例会運営に反映させる。
 2. 例会運営の中で環境問題に対する時間を常設する(環境ニコニコ等)
 3. 『心に残る』例会を運営することにより、新規のメンバー候補を育成、増強する。
 4. 伝統、環境、教育をキーワードにメリハリの効いたゲストスピーカーの招聘に努め、一人でも多くの人の心に残る例会運営を行う

交流事業委員会

- *事業方針
1. メンバーが他クラブへ積極的に出かける
 2. YEOP・STEP 理解
- *事業計画
- 積極的に他クラブの周年事業へ参加の奨励
三役始め他の役員の協力を要請する。少なくとも3人程度の参加を目指す。
例会欠席者のメイクアップの奨励
欠席者の所属委員会の中から、一緒に他クラブを訪問するよう呼びかける。
京都部の交流委員会の推進
新山部長の協力を要請して、各クラブの情報交換を行い、出来ることを積極的にクラブ活動にとり入れる。
東京クラブ訪問についての準備
少なくとも20名以上の参加者を目標。
釜山ベゼルクラブへの対応について
10月に来日の予定ということを引き継いでいるので、詳細については仁科さんの協力を得て推進する。先方の内部案としては過日韓国内のDBCを締結した釜山光州ベゼルクラブが横浜クラブとIBCの関係があるので、4クラブ合同の集会をしてはとの非公式の提案がある。その対応については今後の推移をみて検討する。
YEOPとSTEP 派遣と受入れについて
この事業には今まで積極的に関わっていなかったため、資料を整理の上クラブ内での広報を徹底して、対象コメントのあるメンバーへの働きかけをして関心を持ってもらうことから始める。
トライアングルの可能性の検討
東京クラブと相談して、適当なクラブがあればその可能性についての調査と検討をする。次期への検討課題となればよい。
その他
東京クラブ、釜山ベゼルクラブ会員の逝去または天災などの場合の危機管理体制の検討、またはルール化についての検討を行う。他の事業委員会と協力体制をつくる事柄があれば連携して対応する。

ファンド委員会

- *事業方針
1. BF・EF・JWF 献金の目的を深く理解し現状を維持するのではなく更なるステップを目指す。
 2. 「Ahead of a generation」— 新たな展開を求めて一の主題に沿ったファンド事業の新規開発に伴う事業柱の分散
- *事業計画
1. 基本路線の具体化、使用済み切手の収集に対する意識を向上させる。
 2. 新しい、柱ファンド先を見つける。ジャガイモも含め、それ以外のファンドの検討及び実行。

広報・プリテン事業委員会

- *事業方針
1. 「Ahead of a generation」の主題のもと、全員参加型のプリテン作成に努める
- *事業計画
1. ホームページ・デジカメを使い、プリテン経費を削減する。
 2. 「大人の休日」というタイトルで全員に掲載依頼をする。最近凝っている事・趣味・ホッとできる時間などメンバーそれぞれが、お持ちになっているリラックスできることを徒然なるままに書いていただくという趣旨です。
 3. 例会欠席者の近況報告欄を設ける

EMC 事業委員会

事業方針

- ・会長主題の「Ahead of a generation」— 新たな展開を求めて — を基本にメンバーシップを高めメンバー増強に努める。
- ・新会員確保とノンドロップのため全会員が努力する。

事業計画

- ・メンバーひとりひとりが、危機感を持ち会員候補の発掘に努力する。メンバーゲスト13名を目標とする。
- ・会員増強の目標を5名とし全会員が情報提供する。
- ・例会出席率200%を目標とし個々の出席率に注視し、ノンドロップを目指す。
- ・例会欠席者は、プリテンで近況報告を行う(欠席理由などメッセージ)。
- ・EMC 事業主任を招き EMC 例会を開催する。
- ・メンバーシップ強化を図るために、メンバーの誕生日に合同誕生日会を開催する。
- ・事業委員会を合同委員会として開催する。

メネット事業委員会

【事業方針】

1. 会長主題の「Ahead of a generation」— 新たな展開を求めて — を基本とし、メネット間の親睦を深める。
2. メネットがワイズを理解し、メンの協力者となり、多くの事業に参加する。

【事業計画】

1. 懇親食事会の開催
2. 国際、国内プロジェクトへの支援
3. クリスマスメネットファンドの実施

京 都 部

部長 新山 兼司(京都トップス)

1. 部長主題

GO・GO・GO
《京都部 555 を目指してYと共に更なる飛躍を！》
副題 元気・やる気・根気・本気

2. 活動方針

京都部は西日本区において、最大のメンバーを誇る部です。現況を維持するのではなく更なるステップと共に、京都部555を目指すことによって意義ある起爆剤となる事を願っています。新しいメンバー獲得の為に、メンバー間の意識の向上・所属クラブの活性化の絶好の機会となり、それぞれのクラブが更なる飛躍をされる事を望みます。京都部の感性と高い能力を持っておられるワイズメンと共に切磋琢磨し大きな力を発揮しましょう。

3. 活動計画

Yサ・ユース事業	ユース交流の推進。京都 YMCA 行事への積極的参加とサポート
地域奉仕事業	UGP STOP HIV/AIDSについて企画する環境問題への取組み継続と情報発信
E M C 事業	555名体制の構築 情報交換・意見交換の機会を設ける 広報事業とのリンクによる EMC
ファンド事業	BF 代表への積極的応募推進 EF, JWF の啓蒙推進
交流事業	部内各クラブの IBC, DBC の交流状況を広報とリンクして他クラブや外部へ PR
広報事業	各事業活動とのリンクによるワイズ活動のアピール
メネット事業	部メネットアワーの開催 区メネット事業への協力

西 日 本 区

理事 神谷 尚孝(和歌山クラブ)

理事主題 「確信を持って前進しよう！」
— Let's move forward with conviction! —

過去10年来、西日本区の会員の減少が続いていることはご承知のとおりであります。

他の国際的に有名な数々の団体では、私達より更に劇的に会員数が減少しています。この減少は単に経済環境悪化のためとして受け入れてしまって良いのでしょうか？

私達の周辺を見渡してみますと、次々と新しい NPO 法人が組織されて、大勢の方々がボランティア活動を行っています。

私達ワイズメンズクラブの目的・モットーは、定款の第2条第2項に...研鑽の機会を提供するとともに、誠心誠意 YMCA と協働し、...と明記されています。私達が支援している YMCA は支援を必要としていないのでしょうか？ あるいは、YMCA の活動は私達が支援するに値しないのでしょうか？

「YMCA の願い」には、次のとおり書かれています。

『自分のいのちとみんなのいのちを大切にすること』『家族、地域のひとりとして責任があること』『世界と地球を見つめ、考え、行動すること』『ボランティア精神とリーダーシップを身につけること』『すこやかな心とからだを育むこと』YMCA では、これらを実現するために、『思いやり』『誠実さ』『尊敬心』『責任感』をすべての場面で大切にしています。」

このように素晴らしい目的を持った YMCA を支援することを目的とした、私達ワイズメンズクラブは、どのような時代にあっても必要とされる素晴らしいクラブなのです。この活動を強力に永续させるために『YYファン』の創設を提案します。

西日本区11年目の節目に当たり、目的とモットーを再確認して、「確信を持って前進しましょう！」

重点目標

1. 会員増強
2. 国際統一事業 (Unified Global Project 略称UGP [Stop HIV / AIDS] の推進
3. YMCA 支援とユースの育成

1. 会員増強について

2006年度より、「西日本区2000推進チーム」(森本榮三委員長、07年度より松岡義隆委員長)が設置されました。EMC 事業主任との連携協力を配慮しながら、早期に会員2000名が実現できるように頑張りましょう。そのために全てのクラブが、それぞれの地域で認められる奉仕活動を、地域奉仕委員会と EMC 委員会が共に企画して実施しましょう。

2. 国際統一事業 [Stop HIV / AIDS] の推進について

2005年度から、世界のワイズメンは国際統一の5カ年継続事業(UGP)として、[Stop HIV / AIDS] の推進に取り組み、3年目を迎えました。この事業には TOF 資金が用いられません。TOF 献金と区・部・クラブに於いて強力にキャンペーンプログラムが推進されることを望みます。各地の YMCA と協働する事で、良い成果が上げられると思います。

3. YMCA 支援とユースの育成について

冒頭に述べましたように、ワイズの第1の目的は YMCA の支援です。それぞれの地域によって、必要とされる支援は異なります。YMCA スタッフと決定権のある常議員と充分協議しながら進めましょう。

昨年11月に西日本区初の「ワイズ・ユースクラブ姫路 - Y3」が設立総会を開催しました。引き続いて、神戸や九州の地でユースクラブの胎動が始まっています。ワイズが支援して成長を見守りましょう。

YMCA のユースリーダーとは折に触れ交流し、励ますと共にワイズ理解を深めてくれるように努めましょう。

『YYファン』を創設するには、役員会の議を経なければなりません。賛同を得て実現したいと意を固めています。

西日本区独自にはCSファンド・FFファンドはありますが、YMCAやユースに対するファンドがありません。YMCAサービス・ユース事業を発展させていくために、有志の献金によるファンドの創設が必要です。ファンドの目標額を1千円として仮に1,500名の会員が献金して下されば1,500,000円の基金が得られます。今まで日本YMCA同盟に毎年1,000,000円の支援を続けていますが、ここ数年の一般会計は、会員減少の為赤字が続きその額も増大してきています。このまま繰越金の充当を続けることはできません。

2007年度は、国際へのBF献金目標額を従来より10ドル/人減額して15ドルとしました。会員にとってこの10ドル(約1,200円)をファンドへ振り向けて下されば、YMCAやユースの支援に活用でき、一般会計の赤字の減少も図ることが可能となります。

1. YMCA サービス・ユース事業

各部・クラブに於いてスタッフと協議し、協働あるいは支援のプログラムを実施してください。

YMCAのない地域には新しく設立することを真剣に考えてください。

ワイズ・ユースクラブについて全員が勉強して、それぞれの地域で設立の可能性を考えましょう。目標=3クラブ ASF(YMCA主事養成資金)は、区会費に含み納入していますが、特別寄付も歓迎されます。目標=\$1/人 『YYファンド』の趣旨を理解していただき推進する。

目標=1,000円 全会員

2. 地域奉仕事業(TOF・CS・FF)

国際統一事業を進めるのはTOF献金です。[Stop HIV/AIDS]は、地球的規模で取り組まねばならない事業です。全会員が積極的に関わってください。目標=\$16/人 西日本区地域奉仕委員会で用途先を決定する資金源は、お年玉切手を収集し換金して送金していただくCS資金と、ご家族の理解と協力で、断食あるいは節食をして献金していただくFF資金です。国内のみならず世界に目を広げ協力しましょう。

CS資金目標=\$1,800/人

FF資金目標=\$1,000/ファミリー

アジア地域で、「自然災害緊急支援資金」が設けられ、2006年度より3年間 US \$1/人をアジア会費と共に納入することになりました。

3. EMC事業

重点目標の第1番に掲げた会員増強です。「西日本区2000推進チーム」と連携して、早期に実現するように会員一人ひとりのご努力をお願いします。

年に1度は、同伴例会や公開例会を催してください。部主催のEMC研修会を開催してください。年度末にユニークな表彰など考案してください。

目標=1クラブの設立 期初より80名の会員増

4. ファンド事業(BF・EF・JWF)

BF 使用済み切手は10kg=6,000円ですから時間対価を考えると経済的ではありませんが、無から生み出される精神を大切に、共同で語らいながらの切手切り作業も価値があります。目標=1,800円/人

EF 国際ワイズ運動発展のための基金です。1口100ドル。1,000ドルでオナロール賞が与えられます。

目標=100ドル 30口

JWF 西日本区発展のための基金です。EFと同様に、個人で何かを記念する時や、クラブとして毎年継続した協力もしましょう。目標=\$10,000 50口

5. 交流事業(IBC・DBC・YEPP・STEP)

IBC・DBCの締結後も実質的な交流が続いていますか。世界に広がるワイズを実感し楽しみましょう。

YEPP・STEPの活動は、近年低調になっています。改善策を考えましょう。

6. 広報事業

情報委員会と協働して、内部広報を積極的に進めましょう。メディアへのアプローチの仕方を、クラブや部で学ぶ機会を作り、積極的に広報に取り組みましょう。

7. ネット事業

現在、ネットの状況はクラブによって大きく相違しています。無理なく楽しくメンと共に活動して支えてください。ネット同士の良き交わりはメンの活動を支える大きな力です。親睦を大切にしてください。女性パワーがワイズの発展に必要です。

ワイズデーについて

日本で最初に設立した大阪クラブのチャーター日、11月10日をおぼえ、この日前後の休日を「ワイズデー」と定めています。2007年は11月11日(日)とします。

この日または前後に、周囲の方々を大勢巻き込んだ特別な行事を、部またはクラブで企画し、メディアを通じ広報を心がけましょう。

国連との協力関係について

ワイズメンズクラブ国際協会が、国際連合へ予て申請していた「Consultative Status」(協議資格)が与えられました。

UGPが認知されたことに依ります。正式には、「国連経済社会理事会」に於いて協議資格を持つNGOの一つとして認められ、理事会へ出席を許されると共に、4年に1回の報告義務があります。

我々の組織で使用する用箋にこの事柄の記載が認められますが、詳しい規定があるので、正式な連絡があるまでは、表記できません。

2007~8年度 目標

国際貢献は大切なことではありますが、各クラブの財政も考慮して、BFは前年に比べ\$10/人 減額しました。出来るクラブは従来以上のご協力をお願いします。

2007~8年度 算定基礎の会員数は1,700名、\$=¥120としています

		2007~8年度 目標		2007~8年度 目標		2007~8年度 目標	
ASP	特別寄付	\$1,700	フ ン ド 事 業	BF	\$25,500	EXTEN(クラブ)	1クラブ
	区費と共に	\$1/人		BF	\$15/人	LT(開催回数)	2回開催
北 城 奉 仕 事 業	TOF	\$27,200	フ ン ド 事 業	EF	\$3,000	MC(会員増強)	前期末+80名
		\$16/人		EF	\$100×30口	R-Bulletin(発行)	3回発行
	FF	¥1,700,000		JWF	50口	YYファンド	1,000円/人
		¥1,000/F		JWF	1回¥10,000以上		
CS	¥3,060,000						
	¥1,800/人						

* 目標の\$表示の項目は国際へ拠出されます。
\$15 1,900円
\$100 12,500円

事業主任方針

Yサ・ユース事業主任 大野 勉(神戸ポート)

1. 事業主題

ユースとともに、平和を築こう!

— 国際・国内・身の周りの平和を見つめなおして —

2. 事業方針

1. Y'sユース活動のさらなる発展と展開
2. YYファンドの創設(Yサ・ユース事業活動資金源を確保する)
3. YYフォーラムの実施・支援
4. ピース・リーダーシッププログラムの拡充

3. 事業計画

1. 各部 ユースクラブの設立・支援
2. ユースコンペーション(デンマーク世界大会)各部1ユース以上の参加
3. YYファンド事業の展開
4. YYフォーラム 各部開催(Y'sコメント、Y'sユース、Yリーダーの積極参加)
5. 事業主任通信発行(年4回)

地域奉仕・環境事業主任 岩間みどり(大阪ヴェクセル)

1. 事業主題

共に考えよう! 「今、私達に出来ること」

2. 事業方針

5 ヶ年継続国際統一事業「STOP HIV/AIDSプロジェクト」に加え「環境問題」への取り組みも地域奉仕事業で行ないます。

二つの問題に共通することは 問題取り組みの遅れと誤りは後世の人類に大きな重荷を残す問題であること、しかしながら他国の話、我が身に關わる現実問題では無いと受け止められがちなことです。先輩方が取り組まれた「知ること、伝えること」を大切に、今我々に何が出来るかを「共に考えたい」と思います。

エイズ問題や環境問題への積極的な取り組みや、活発な地域奉仕活動がワイズの認知度や信頼を高める力となり、そこから EMC 活動に繋がるものと信じます。

3. 事業計画

5 ヶ年継続国際統一事業「STOP HIV/AIDSプロジェクト」は3年目となります。今期から地域奉仕事業で行なうこととなった「環境問題」と共に進めてまいります。

西日本区の各部、各クラブで取り組まれる事業を支援し、Y's運動の輪を広げる取り組みを続けます。

(1) ワイズデー(今年度は11月11日) 西日本区全体で取り組む奉仕活動は、Y's理解を深める好機です。広報事業、EMC 事業など他事業と連携して広くアピールしたいと考えます。

(2) CS 資金(年賀切手)の目標 1800円/1人 西日本区の推進する地域奉仕事業に取り組む各クラブおよび部などの活動支援を目的とする資金です。

(3) TOF 資金(断食のとき)の目標 \$16(1920円)/1人 国際に送られ TOF 資金として活用されます。

(4) FF 資金(ファミリーファスト)の目標 1000円/1ファミリー 西日本区独自の支援活動資金。戦争・紛争・自然災害・疫病・交通事故などに苦しむ子供達の支援を目的とする資金です。

(5) 上記計画への理解を頂き目標を達成するために、地域奉仕事業研修会を実施します。7月22日(日)(予定)

EMC 事業主任 澤田 賢司(京都グローバル)

1. 事業主題

愛と熱意で根気良く! 想像力豊かに行動するワイズメン。

2. 事業方針

会員増強とオリエンテーションの充実を推進する。

西日本区2000名達成を目標として掲げ2000推進チームと共働する。

増強方法の一つとして勧誘手順を示す。

報告・連絡・相談の徹底で会員維持に寄与する。

理想を追求し、クラブステータスの追求を一考する。

クラブエクステンションを考察し1クラブ目標とする。

3. 事業計画

クラブの EMC 例会、部単位での EMC シンポジウム、研修会開催の依頼。

・東西日本区の広い範囲で講師の派遣を検討・推進する。

・会員増強の為の EMC プログラムを推奨し報告する。

勧誘円盤図の配布を徹底し活用してもらおう(主査 クラブ会長・EMC 委員長)。

部ごとに及びクラブごとに増強目標数の提示をお願いする。

各部会、各クラブに参加し、現状把握に努めたい。

EMC 事業委員会の開催 7月 11月 3月

各部事業主査研修会の開催 7月 11月

ファンド事業主任 前田 文夫(姫路グローバル)

1. 事業主題

ワイズの恩恵をファンドに反映し、ファンドを通して国際理解を深めよう。

2. 事業方針

ワイズの恩恵を感じつつ、BF・EF・JWF 献金の目的を深く理解する。

・BF (Brotherhood Fund) 1人 \$15(¥1,900) [使用済み切手換金分を含む] 西日本区目標 \$25,500

・EF (Endowment Fund) 1回 \$100(¥12,500) 西日本区目標 \$3,000

・JWF (Japan West Fund) 1回 ¥10,000以上 西日本区目標 50口

3. 事業計画

BF・EF・JWF 3事業の目標達成の為に、ファンドに対する意識向上を積極的に図る。

ワイズファンドの原点である使用済み切手の収集と親睦を兼ねた整理作業を継続して行う。

BF 代表の希望者が増えるよう必要な情報を提供する。

交流事業主任 吉岡 毅(京都ウイング)

1. 事業主題

世界の Y's と共に語らおう。

2. 事業方針

・IBC、DBC 例会を開催しよう。

・IBC、DBC 交流事業を活発にしよう。

・YEEP、STEP に挑戦しよう。

3. 事業計画

・IBC、DBC のないクラブは、積極的に今年から始めよう。

・IBC は活発的に渡航し、DBC は常に交流の場を持つよう。

・YEEP、STEP の楽しさをアピールしよう。

・IBC、DBC とのコメットのホームステイを実現しよう。

・IBC、DBC とのホームページに常に関心をもち確認しよう。

・IBC、DBC の不信のクラブは、ブリテンの送付やメールを送信しよう。

広報事業主任 守田 富男(八代)

1. 事業主題

『広めよう! グッドニュース』

ワイズメンズクラブの活動を広く知らしめることは、多くの人たちに「もう一つの生き方」と出会う機会を提供することです。「世の光」として、積極的にワイズの精神と活動をアピールしましょう。

2. 事業方針

1. 西日本区の広報活動を積極的に行う。

2. ワイズメンズクラブへの認知度を高める。

3. インターネット活用の拡大と質の向上を図る。

3. 事業計画

1. 区、部、クラブにおけるプレスリリース活用の推進。

2. ワイズメンズクラブ PRパンフレット作成の推進。

3. ホームページのアクセス数向上施策の実施、

4. インターネットによる広報活動の拡大と質の向上。

・コンテンツの充実

・SEO(検索エンジン最適化)によるアクセス数アップ

・ブログ、メルマガ、SNS等の利用検討

メネット事業主任 林 成子(奈良)

【聖句】

これら小さいのものの上に、愛を加えなさい。

愛は、すべてを完全に結ぶ帯である。

(コロサイ人への手紙 3章14節)

1. 事業主題

【メネットの笑顔はY'Sの宝物】楽しみましょう!!
メンと共に。

Y's Menette's smile is the treasure of Y's men.

Let's enjoy!! With Y's men.

2. 事業方針

メンの事業を応援し、メンと共に行動し、メンと共に奉仕しましょう!

「ワイズメンズクラブはメンを通して夫婦で、家族で、楽しく奉仕活動が出来る国際奉仕団体である」という特徴を生かしましょう

3. 事業計画

1) 国内プロジェクト

《メネット会の親睦と設立の強化年》

*各クラブのメネットさんは、親睦を第一に、メネット会を活性化して下さい。

*メネットの参加がないクラブは、メンから呼びかけて頂き、メネットの輪を広げ、メネット会の設立に努力してください。

*メネット会は各クラブ内でのサポート役で、言うなれば家庭での妻役です。

メンの一番の理解者、協力者として、ワイズメンズクラブの強い力になれます。

《エイズ若者予防グループ WYSH プロジェクトに支援します。》

* (Well-being of youth in Social Happinessの略) プロジェクトは、エイズ予防を単に技術ではなく、高い社会的価値に結びつけようという意図を込めて、科学的エイズ予防対策の開発を試みてきたプロジェクトです。

若者に対する徹底した調査に基づき、エイズ予防教育を「人生の夢・希望」や「人としての生き方」とい

う、根本的な価値観の中に位置付けようとするところに特徴があり、更に予防を学校教育だけでなく地域、保護者、医療機関等の連携と役割分担(社会分業)によって、問題意識を高め、若者を支えるネットワークを社会の中に構築し、失われた社会の「相互の関わり」を回復しようとしています。現在、このプロジェクトの研修事業が始まっており、これが確実な効果を上げ、有効であるという報告がなされています。

・WYSHプロジェクト(若者予防グループ)代表者
木原 雅子先生...京都大学大学院医学研究科助教授

・連絡先...〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町
京都大学大学院医学研究科・社会健康医学系専攻社会疫学分野

2) 国際プロジェクト

国際から支援先の連絡があり次第、支援していきます。プロジェクトの内容を、詳しく伝達していきますので、理解して頂き、世界に目を向けるキッカケにしてください。

3) UGP(統一プロジェクト)へのサポート

[STOP HIV/AIDS]への継続支援

メンの事業であるエイズ、ピンバッジの協力募金をサポートします。

4) メネット強調月間(9月)

各クラブで、メネットが楽しめるメネットならではのプログラムをメンと共に企画してください。

例えば・・・*ゲーム大会(夫婦の絆は如何ほど?)や主婦の視点に於けるタイムリーな卓話(妻は何に興味があるの?)

5) 西日本区メネット報[NOTES&NEWS]の発行 年3回予定

6) 西日本区大会でのメネットアワー開催



大人しい休日

山口 雅也

昨年までは長男の少年野球に、休日がほぼ費やされていたのとは違って、予定があまりない休日を送っています。このままでは運動不足もはなはだしいので、自宅から自転車で通えるジムに行くことが多くなりました。

30分ほどランニングして筋トレやスイミングをして、サウナ、お風呂と体も動かせてリラクゼーションにもなりとても気に入っています。個人的な時間を持たせてくれる妻に感謝しながら、もっぱら休日の午後はお買い物に随行することが最近多くなりました。娘たちも小学生で、まだ親と共に行動してくれるので今はこれでいいかな、と思っています。

親父の休日

金原 弘明

休日...

去年は殆ど休みをとらなかった。その結果、家庭内が非常にまずい状態となってしまった。今年の年初に今年の目標を「何事にも余裕も持つ」と決め、無理やりでも日曜は休むようにし、敢えてデジタル一眼レフを買って、それを使う機会を一回でも多く持とうと決めた。

そんなに多くの機会は持っていないが、少なくとも去年よりは、家族で遊びに行くことが増えた気がする。最も安価なデジタル一眼レフだが、それで撮った写真は本当にきれいで、専ら子供を撮ることのみに使っている私は「こどもスナップ」というモードに頼りきりである。このモードで撮るとほんとにかわいく撮れるのである。

遊びに行かない日は、まだ数十枚しかない写真をパソコンのデジタルアルバムで眺めながら、コメントをつけたり、何度も順番を入れ替えたりして楽しんでいる。

恐らく、ほんとにゆっくりしたペースでしか埋まっていけないこのデジタルアルバムを、「こどもスナップ」モードを外して撮る年齢に子供が成長するまで間を空けることなく埋めていくことが、私の「大人の」というより「親父の」休日なのかなと思います。

7月第一例会

Kick-Off 総会

内廣 健

当日は「京都キャピタル物語」第24幕の幕開けでした。

時あたかも京の街に「コンチキチン」の祇園ばやし流れ、雨天の中で鉾立が始まっていて、四条通り界限がお祭り一色となる日でもありました。

我がキャピタルクラブ劇場の演目は「Ahead of a generation = 新たな展開を求めて」で1年間のロングラン講演といったところです。

定刻のPM7:00山田英樹ドライバー委員長の司会の下で、主演者の山田隆之会長による開会点鐘、英語によるワイズソング斉唱の後、今や環境問題に関心が寄せられている世情の中にあって、私達が日頃自然の中で生かされていることへの再認識を提唱され「散る桜残る桜もまた桜」との自然観に親しみながら、次なる25幕に繋げる展開を心掛けようとの、爽やかにして力強い口上の挨拶で始まり、第二場では、神崎総主事令嬢、勝山さん令嬢の結婚お祝い披露。

第三場は西日本区からの委嘱状が、石倉 尚さん（地域奉仕環境事業委員）、岡本尚男さん（ワイズ必携編集特別小委員会委員長）、仁科保雄さん（JWF 管理委員会委員）の三氏に山田会長から伝達がなされました。

2007年7月10日(火)
於 ウェスティン都ホテル京都

次に食事と休憩時間を挟んで第四場総会を迎え、慣例に依って山田会長から議長に大山さんが指名され満場一致で承認されて議長席に座り、直前三役も指定席に着席されて、金原書記から定足数(在籍者数28名・出席者数25名)の確認がなされ、「規約に依り本総会は成立する」との宣言があった後、大山議長の下で議事に入り、第一号議案(2006~2007年度事業報告)と第二号議案(2006~2007年度会計報告)が審議され、それぞれ承認可決されました。



神崎主事へお嬢さんの結婚祝

引き続き、今期の主演三役が指定席に入れ替わって着席されて、大山議長の進行で第三号議案(2007~2008事業計画案)・第四号議案(2007~2008年スケジュール案)・第五号議案(2007~2008年度会計予算案)が提案審議され、議長の手際よい計らいにより全会一致で原案通り承認可決されて、総会は無事終了。

HB、ニコニコ、YMCAの歌斉唱、山田会長の閉会点鐘で終始和やかな雰囲気の中に初日のお開きとなったのですが、キャピタル文化の大きな新しい演出がいよいよ始まったことに、喜びと誇りを覚えながら会場を後にした次第です。

HB、ニコニコ、YMCAの歌斉唱、山田会長の閉会点鐘で終始和やかな雰囲気の中に初日のお開きとなったのですが、キャピタル文化の大きな新しい演出がいよいよ始まったことに、喜びと誇りを覚えながら会場を後にした次第です。

「新たな展開を求めて」の言葉を、心に刻み付けながら一。

7月第二例会

京都部長公式訪問例会

石村 吉宏



八木さんへ結婚祝

会長挨拶の後、八木さんへ結婚のお祝いが贈呈されました。

食事時中には、八木さんから新婚旅行のお土産のチョコレートをごちそうになりました。イタリアのチョコはおいしい。

本日は、京都部長公式訪問例会で、キャピタルクラブ

が誕生する時から一緒に過した者として、新山部長が訪問されるのを楽しみにしていました。

最初に、副題の「元気・やる気・根気・本気」そのものの、新山部長が主題の京都部メンバー増強を重点においた555人を目指す事に付いて、京都部では、各クラブで入会式や入会予定者が増えて、是非、多くの人に入会してもらおう為、メンバー候補を集めるのに、自分が入会した時の事を思い出して、入会間もない時は寂しい思いをするもので、新入メンバーを十分フォローしてあげて欲しいと部長自身のパレスクラブ入会の時から、キャピタル、トップスへと続くワイズ歴を笑いを交えながら、楽しく話されました。

トップスクラブがチャーターして、2年目に部長輩出の順番が回って来た時、体制も整わず、力も無く、部長が出せずに悔しい思いをしたが、今回は盛り上がり、こうして部長として

2007年7月17日(土)
於 ウェスティン都ホテル京都



山田会長 新山部長 中村ファンド 森 広報主任 主査

この場に居られることを嬉しく思うと話されました。

みやびクラブ、森広報事業主査は、部ホームページに各クラブの例会内容をUPして頂き、全クラブが参考に出来る様になりたい。三条YMCAにワイズ広報ブースを設けること等を話されました。ウエストクラブ中村ファンド事業主査は、各クラブのファンド資金から少しでもEF・JWFへ献金をして欲しいと話されました。

最後に、例会最初の部役員としての入場はありませんでしたが、我がクラブ竹田Yサ事業主査が、ワイズに入会している事が、YMCAのボランティアに寄与していると思える様になってきた。子供がYMCAのプログラムでお世話になって、リーダーの働きが解り、多くのメンバーにリーダーを知ってもらう機会が作れたらいいと思うと話されました。

地域奉仕・環境、メネット事業 合同研修会に出席して

地域奉仕・環境事業委員長 仁科 保雄

7月22日、日曜日蒸し暑い梅雨独特の空模様の中、大阪 ORC プリオ会議室において岩間みどり地域奉仕・環境事業主任の開会宣言の下に開催されました。

今期のメネット事業主任も STOP HIV / AID を主題とされており、地域奉仕事業・環境は各地域奉仕主査のこれからの方針などの発表はありましたが、HIV / AID への取り組み課題が主力となっていました。

講師としてお招きした「BASE KOBE」代表の繁内幸治様から HIV / AID の世界的に急速に蔓延していく脅威を警戒感をなくさず注意をすること、そしていかに病気のことを知り予防するかに関する話を拝聴させていただきました。

最近、周囲の環境がかなり悪化していることはみんなが意識していることでもあり細心の注意が必要で、特に海外旅行などにもこの危険がついて回ります。よくよく注意が必要と思えました。

その他、環境問題には主査よりこれからの種々の取り組みを発表されたところもありました。地域奉仕事業としては地震災害に対して街頭募金などへの協力を訴えたところもありました。すべての事業に関心を持ち研究心を持つことの大切さを実感いたしました。

出席 石倉、山田(隆)、竹田、仁科



例会を欠席しました すいません

菅原 縦一（7月第1例会）

皆様の元気な顔を拝見できず、申し訳なく残念に思っております（仕事の予定が重なり、どうかお許しください）。

私も暑さに負けず走り回っています。8月7日の納涼例会で皆様と楽しく飲んでしゃべれることを楽しみにしています。

八木 悠祐（6月引継ぎ例会）

大切な引継ぎ例会を欠席いたし、申し訳ございませんでした。皆様にもお世話になりましたが、弟、孝典の結婚式でした。ものすごくしっかりした奥さんと、弟は既に尻に敷かれております。式では楽しい祝電をいただき、弟も大変喜んでおりました。私の結婚式も迫っており、皆様にはご迷惑をお掛けいたしますが何卒よろしくお願いいたします。

聖句の解説 「やられたらやり返す」「やられる前に攻撃する」、そんな日常をわたしたちは生きています。世界の動向を見ても、身近な関係の中にも、そんな思いが満ちています。

詩編 37:8)はそんな私たちに「怒りを解き、憤りを捨てよ。自分も悪事を謀ろうと、いら立ってはならない。」と勧めます。

怒りや憤り、いら立ちの現実の最中に心を乱され、心をすまさせていくのではなく、諦めることなく祈りを抱いて立ち続け、荒れた海のように見える自分と他者との「あいだ」を繋ぐ美しさを見いだしていくあり方が、神から私たちに託されている使命であることを思います。

HAPPY BIRTHDAY

メネット

橋本佐恵子 8.18 石村しのぶ 8.28

コメント

幡南 慶汰 8.10 山田 大輔 8.26

HAPPY ANNIVERSARY

岡本 尚男・都 ご夫妻 8.28

8月・9月予定抄

- 8月3日(金) YMCA 平和の集い
- 8月10日~12日 アジア地域大会(バンコク)
- 8月18日~19日 青い空と白い雲のキャンプ
- 9月2日(日) リトセン秋の準備ワーク
- 9月9日(日) 京都部部会(ウエスティン都ホテル京都)
- 9月30日(日) ふれあい広場(神戸市立フルーツ・フラワーパーク)

第1回 役員会議事録

2007年7月24日(火)19:00~21:00
ウエスティン都ホテル京都 竹の間

<報告事項>

西日本区

- ・新潟中越沖地震の件
現地入り困難の為、詳細が判明次第通達
- ・地域奉仕・環境事業、メネット事業合同研修会
7月22日(日)大阪 ORC プリオ会議室 4名参加

京都部

- ・京都センチュリークラブが新潟中越沖地震の緊急募金開催
7月21日(土)四条川原町周辺 1名参加
- ・新潟中越沖地震緊急支援街頭募金
8月4日(土)13時 三条本館集合 Yサより広報
- ・京都グローバルクラブ15周年記念例会
2008年3月1日(土)リーガロイヤルホテル
- ・京都部交流委員会懇談会
8月31日(金)YMCA 三条本館 3名出席予定

三 役

- ・センチニアルクラブとの合同新年例会 大阪開催希望

<各事業委員会報告>

- Yサ・ユース ・リトセン受付キャビンへの外灯取付
- 地域・環境 ・ベテスタ祭り 10月8日(祝)
- ドライバー ・9月18日第二例会 京都ダルク加藤氏
- 交 流 ・DBC 東京クラブ訪問 来年4月の日程調整中
- ファン ド ・納涼例会にて扇子販売
- ブリテン ・8月号にて今年度事業方針の掲載
- E M C ・10月2日第一例会 EMC アワー

<審議事項>

- ・新潟中越沖地震献金 災害時積立金+クラブ募金 承認
- ・第29代理事田中真氏(東京)メモリアルEF 献金 承認
- ・吉井さん結婚お祝い 承認
- ・ベテスタ職員の方を納涼例会に招待 承認
- ・新年例会 大阪開催の件 継続検討
- ・メイクアップ参加推進 参加者補助 承認

